

# 符号化反復における文脈の多様性が自由再生におよぼす効果(4)

—場所単独操作で反復の分散間隔が10分間条件での検討—

○漁田俊子

漁田武雄

(静岡県立大学短期大学部)

(静岡大学情報学部)

Key words: repetition, contextual variability, free recall

漁田・漁田(2004, 2005ab)は、部屋、符号化課題、社会的要因を複合させた文脈操作を用い、1週間、1日間、10分間の分散間隔・保持期間で、反復における文脈の多様性の効果を調べ、同文脈反復優位の結果を得た。これは、部屋単独での文脈操作かつ分散間隔・保持期間3時間による異文脈反復優位の先行研究結果(e.g., Glenberg, 1979)とは正反対である。

本研究は、部屋単独の文脈操作を用い、反復の分散間隔と保持期間が10分間の条件下で、反復における文脈の多様性の効果を調べた。そして、部屋単独での文脈操作による異文脈反復優位の先行研究結果(e.g., Glenberg, 1979)および部屋、符号化課題、社会的要因を複合させた文脈操作による同文脈反復優位の結果(漁田・漁田, 2004, 2005ab)との比較を行った。

## 方法

**実験計画** 1回目と2回目の符号化文脈(A, B)を組み合わせて、AA, AB, BA, BBの4群を構成した。AA群とBB群を結合して、同じ単語リストを、同一文脈下で反復符号化する条件(SCR条件)、BA群とAB群を結合して、異なる文脈下で反復符号化する条件(DCR条件)を構成した。

**実験参加者** 静岡県立大学短期大学部生48名を、3名1組としてランダムに上記の4群に割り当てた。その結果、各群ともに12名となった。

**材料** 描画可能な名詞24個を記銘項目とした。

**文脈** 部屋の物理的特徴(広さ、内装、調度品など)を操作して、符号化文脈(A, B)と中立的文脈(N)を構成した。

(1) 文脈A 幅0.9m×高さ1.8mのパネル3枚をコの字に配置して作った実験ブースを用いた。実験参加者は、17" CRTディスプレイに直面して着席し、反応入力用のマウスを操作した。実験者は、実験参加者の背後で教示し、実験中は退出した。

(2) 文脈B 5.0m×5.2mのプレイルームを用いた。場所Bには、大きな窓があり、外の町並みが見えた。また、幼児・児童用の遊具・玩具が散乱していた。実験参加者は、1.8m×1.8mのテーブルを囲んで着席した。実験者も、同じテーブルを囲んで着席し、教示した。

(3) 文脈N 3.8m×5.9mの面接室を用いた。

**手続き** 実験参加者は、個別に3回のセッションから

なる実験に参加した。セッション間の間隔は、いずれも10分間とした。第1および第2セッションでは、文脈AまたはBのもとで、同一リストの符号化を行わせた。

符号化は、描画によって行わせた。描画は、4項目ずつ6つのブロックに分けて行わせた。実験者は4個の単語を読み上げ、実験参加者に、A4判の用紙の上部に書き取らせた。続いて、「描いてください」という合図で、その単語の描画を開始させた。読み上げ開始から描画開始までの時間を10秒とした。文脈Aでは、描画用紙をクリップボードに装着して使用した。文脈Bでは、テーブルの上で描画させた。描画する絵の大きさおよび配置は、実験参加者の自由とした。4個の描画時間は50秒とした。同様の描画を6回行わせた。

1回目と2回目の符号化課題の間(分散間隔)および、2回目の符号化課題とテストの間(保持期間)は、10分間とした。この分散間隔および保持期間は、文脈Nにおいて、4文字熟語の単語完成課題を行わせた。各実験参加者はソファに座り、テーブル上の単語完成シートに記入した。実験者は、教示を行うと退出し、終了時間近くになると再び入室し、教示を行った。

第3セッションでは、文脈Nにおいて、符号化対象となった24項目の筆記自由再生テストを実施した。各実験参加者は、実験者と対面して着席した。筆記の際はクリップボードを用いた。実験者は立って教示した。なお、保持期間と第3セッションの区分を明確化するため、保持期間終了後、実験参加者を一端退出させ、再び入室させて第3セッションを開始した。再生テストが終わると、内省報告質問紙を実施した。

## 結果と考察

各条件の再生成績をTable 1に示す。DCR条件とSCR条件の再生率の差が有意であった[ $t(46) = 2.87, p < .01$ ]。

本研究は場所単独操作を用い、場所単独操作の先行研究と同様に、異文脈反復優位の結果を得た。同文脈-異文脈反復優位の逆転は文脈操作に起因するといえよう。

Table 1

Proportion of items recalled in SCR and DCR conditions

	<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>n</i>
SCR	.545	.092	24
DCR	.618	.079	24

(ISARIDA Toshiko ISARIDA Takeo)

